

分野	項目	委員	内容
計画概要版	スローガン	筒井委員	素案のスローガンに「地域」といれてはどうか。
計画概要版	スローガン	瀬尾委員	絵に描いた餅にならないようにすることが大事。消費者教育をしていくという強い思いを出すなら、「NO MORE 消費者トラブル」等がいいのではないか。スローガンはだれに向けたものなのか。
計画概要版	スローガン	西森委員	どこに何がつながるのかが明記されていないため、対象が広すぎて当事者意識が持てない。
計画概要版	スローガン	江口委員	「市民・協働による」「自立に向かって」などインパクトのある文言をいれてはどうか。
計画概要版	スローガン	石原委員	スローガンが世に出ていくものなら、「消費者教育」ということばが固いので柔らかくわかりやすい表現がよい。
計画概要版	スローガン	二部野委員	つながるというのは、高齢者向けサロンやコミュニティなどの縦のことだけでなく、企業やNPO、公民館など横のつながりも大事である。
計画概要版	スローガン	豊田委員	スローガンは少し分かりにくいと思う。「地域」や「くらし」を入れるなど、パブリックコメント募集の際には委員の方からも意見を出してほしい。
計画概要版	重点施策Ⅰ	豊田委員	ターゲットを決めて戦略的に行なうこと。目玉戦略をどうするか。重点施策Ⅰは長期的なものであり、何のためにこれなのかということをわかりやすく、ピンポイントで訴えるべき。
計画概要版	重点施策Ⅰ	西森委員	学校では、〇〇教育が増えすぎて難しい状況である。
計画概要版	重点施策Ⅰ	江口委員	学校は、学校園とするべきでないか。
計画概要版	重点施策Ⅲ	二部野委員	重点施策ⅢにはESDを入れてほしい。持続可能な社会のためには、次世代や地球のことが考えられる賢さが必要。重点施策やその下のボツでもいいので入れてほしい。
計画概要版	重点施策Ⅲ	瀬尾委員	重点施策3で、関連する教育との連携だけでなく、地域や企業も巻き込んでいる。したがって、教育委員会・企業・地域との連携という風に大きくしてはどうか。
計画概要版	その他	瀬尾委員	施策をみても、高齢者のことは分かるが、企業をどう巻き込むか、子供や若者をどう助けるかわからない。
素案	P40	江口委員	重点施策には総合的な学習・教科外という視点が入っていない。家庭科や社会など教科の先生に限らず、学校の教職員ということであれば入れるべきではないか。
素案	P23	江口委員	中学校は、児童・生徒できなく、生徒のみでよい。公民分野は、公民的分野ではないか。
素案		江口委員	被害者ではなく加害者にならないよう正しい教育が必要である。
素案		長谷川委員	高校生も被害者だけでなく、加害者にならないようにすることが大事である。
素案		石原委員	インターネットについても強く書いてはどうか。

分野	項目	委員	内容
素案		石原委員	メディアや新聞からの情報を得るといった内容も計画に入れてはどうか。
素案		豊田委員	学習指導要領も変わったりしているが、教育委員会との調整しておかなければ実行可能性に関わる。また、内容は網羅しているが重点施策に目玉や特別感がないため、情報化社会や企業のコミットメントの仕方の工夫など、これが重要だというようなものが出てくるといききとしてくるのではないか。
素案		神崎委員	消費者志向経営をしているが、消費者が過剰な要求をしていることも事実。消費者が加害者側になるという視点もある。そのような視点を入れるべきかどうか。そして、重点かどうかを含め、この教育の中に入れる必要があるだろうか。企業での社員教育で、環境にやさしいモノを作っていくなど企業自身も進化していくという志向を持つことも大事である。
素案		江口委員	消費者が加害者にもなるという視点もやはり大事で、郵便の再配達による労働力の不足や、100円均一商品を作るために労働力が搾取されていることは問題だが、特定の授業の科目でそこまでやることは難しい。
素案		豊田委員	消費者の責任も広がっていて、加害者にならないことやESDという視点もある。現場の意見も踏まえないと実行可能性がなくなってしまうが、マンパワーに限りがある中でどこまでできるかを考えなければならない。
素案		筒井委員	県警との連携も入れた方がいいのでは。消費者被害や交通事故などネットを通じてタイムリーな報告をしている。
その他	その他	神崎委員	連携協働とよく言うが、人と人とのつながりがない社会になってきているためある程度はインターネットを活用した取組が必要では。地域でつながる消費者教育アプリ等
その他	その他	大塩委員	デイサービスや公民館での出前講座は大事である。
その他		江口委員	平成29年4月からの「第2期岡山市教育振興基本計画」には、人権教育や防災教育は入っていないが食育は入っている。消費者教育もここに明記すべき。
その他		長谷川委員	県立高校だが、最新の情報を市からもらっているのはありがたい。
その他		大賀委員	いろいろなレベルの事業者がいる。行政が起業支援をする際に、違法判決が出たクロレラの事例などやっちゃダメなことを教えてはどうか。いろいろなレベルの事業者向けにセミナーをしてもよいのでは。

■協議会には欠席されていたが、矢吹委員からの意見

計画概要版	スローガン	矢吹委員	岡山市の特色は、公民館活動なので、公民館とつながる消費者教育でどうか。
素案	KPI	矢吹委員	消費生活センターの業務内容よりも、被害にあった時、消費生活センターに相談する人の割合にしてはどうか。